



ときめくエコデビュー！

平成24年度（2012年度）

おきがる環境講座 報告書



平成25年1月15日

特定営利活動法人えどがわエコセンター
実施団体 イノシシ倶楽部

平成24年度(2012年度)

おきがる環境講座 報告書

目次

1. はじめに
 2. おきがる環境講座 概要
 3. 活動報告
-

知って・学んで・実践! 広がる! 環境学習の輪

「おきがる環境講座」運営責任者
特定非営利活動法人えどがわエコセンター 副理事長 大和地 弘一

区からの委託事業として平成16年度からスタートした「環境学習リーダー養成講座」は、平成20年度から「おきがる環境講座」に名称を変え、環境学習リーダーになるための知識と必要なノウハウを基礎から段階的に学ぶ体験型学習を主体とした講座を実施。地域やエコセンターで活動する人材の育成に努めています。今年度は、プログラム構成を見直し内容を充実させました。

また、「おきがる環境講座」は、平成19年にリーダー養成講座修了生が立ち上げた「イノシシ倶楽部」により運営され、講座毎にリーダーを置き、企画～実施迄を運営することで人材も育ち組織的な体制で推進することができました。来年度も継続して「おきがる環境講座」の発展とそれを運営するイノシシ倶楽部のさらなる飛躍を期待したい。

(I) プログラムの充実

- 地球温暖化と異常気象の関係を学び、区の7割が海拔ゼロメートル地帯の地形が将来どのような影響を受けるか考える機会を与えることができた。
- 環境未来都市づくりを進めている「柏スマートシティ」の実証実験の見学会を実施。公・民・学連携の大切さ、新しい発見、理想の街づくりを勉強することができた。
- 子ども環境学習は、新たな試みとして篠崎第三小学校4年生と保護者を対象に総合学習を実施した。4年生105名、70名の保護者も一緒に学んでいただいた。

(II) パートナーシップ

従来の東京ガス(株)東部支部との連携事業は先方の事情で実現できなかったが、新たに篠崎第三小学校PTAとのパートナーシップによるPTA授業(総合学習)実施できた。

(III) 人材育成

- 今年度リーダー講座の受講生は、8名の方が修了されイノシシ倶楽部に入会予定。エコセンターの担い手として今後の活動に期待したい。
- イノシシ倶楽部の運営も企画立案から報告書迄のPDCAサイクルを回し、運営準備からファシリテーター・サポーター等の役割分担を決め実施したことで実践力がついた。

(IV) 広報活動&受講者数

受講者増対策として新規講座や新たな試みとしてパンフレットを自治会の回覧版に添付するなど配布先の拡大を図った。既存講座では応募数で苦慮したが、新規講座導入で目標の402名を達成することができた。来年度も継続して広報活動の対策を立てていきたい。講座開催に際しご協力いただいたイノシシ倶楽部やエコセンター事務局の方々のご尽力に感謝申し上げます。

平成24年度(2012年度)

おきがる環境講座 概要

おきがる環境講座は基礎編からステップアップしてリーダー講座へと無理なく段階的に学べ、好きな講座を選択できることを特徴としています。



基礎講座 環境について学びたい方へ (6講座)

これから環境について学びたい方へ。

エコセンターや区が取り組んでいる活動や事業、講演会
体験教室やバス見学会などに参加しましょう。

- 第1回 夏休み!! 親子で学んで遊ぶエコクラフト教室 ~マイはし&はし袋づくり~
- 第2回 私たちの生活と化学物質 ~恩恵(ベネフィット)と影響(リスク)のバランスを考えて~
- 第3回 地球温暖化と異常気象 ~異常気象と海拔ゼロメートル地帯の江戸川区~
- 第4回 環境未来都市づくり(スマートシティ)などについて学ぶ ~柏の葉キャンパスシティ~
- 第5回 篠崎ビオトープで秋の自然を楽しもう ~どんな植物・生物がいるのか観察しよう~
- 第6回 環境問題の今(入門編) ~身近な問題から地球規模にいたるまで~



ステップアップ講座 行動したい方への第一歩 (4講座)

環境問題に興味を持っていてこれから行動したい方へ。

イベントに参加したり、見たり、聞いたり、体験しながら
積極的な関わりへと「ステップアップ」します。

- 第1回 子ども環境学習 ~遊び心で学び行動につなげる~
- 第2回 Edogawaごみダイエットに挑戦 ~ごみ減量はみんなの力で~
- 第3回 生活者の視点で考える省エネセミナー ~目からウロコの省エネ対策~
- 第4回 もったいないカフェ ~身のまわりのもったいないを考えてみませんか~



リーダー講座 学んでチャレンジ! (連続3回講座)

参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたい方へ。

いよいよ地域エコデビューするために必要な技を伝授します。

- 第1回 コミュニケーションのいろハ
- 第2回 合意形成のための体験学習 ~エコ行動力を高めるためには~
- 第3回 修了式と先輩との交流会



1 基礎講座 (第1回)

夏休み親子で学んで遊ぶエコクラフト教室 ~マイはし&はし袋づくり~

講 師 山川 英夫 (㈸山川建具)

荒木 初美 (えどがわエコセンター会員・イノシシ倶楽部)

概 要 夏休みを利用して、親子と一緒に地球環境にやさしいエコクラフトづくり(マイはし、はし袋)に挑戦。古い衣類や建具の廃材利用“もったいない”の心で、物を大切にすることを学び、日常生活の中でリサイクル意識を育む。

会 場 タワーホール船堀・産業振興センター

対 象 者 親子

日 時 平成24年8月7日(火) 13:30~15:30

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

親子で、自分のオリジナルはし、はし袋を講師や親の手を借りながら、全員が無事に作り終えることができ、作品を仕上げる達成感と“もったいない”の心を育むことができた。運営では、プログラム構成や時間配分の工夫が必要と感じた。今後は、子ども達が興味を示すエコ工作などを通し親子でエコに気づかせる講座を広げて行きたい。





2 基礎講座 (第2回)

私たちの生活と化学物質 ～恩恵 (ベネフィット) と影響 (リスク) のバランスを考えて～

講 師 市川 まりこ (消費生活コンサルタント・環境カウンセラー)

概 要 毎日の暮らしに欠かせない食品、洗剤、日用品や住宅など、身の回りの製品を含む全てのは化学物質でできている。その化学物質の「リスク」について、どのように考えたらよいか一緒に考えて見る。

会 場 タワーホール船堀・307会議室

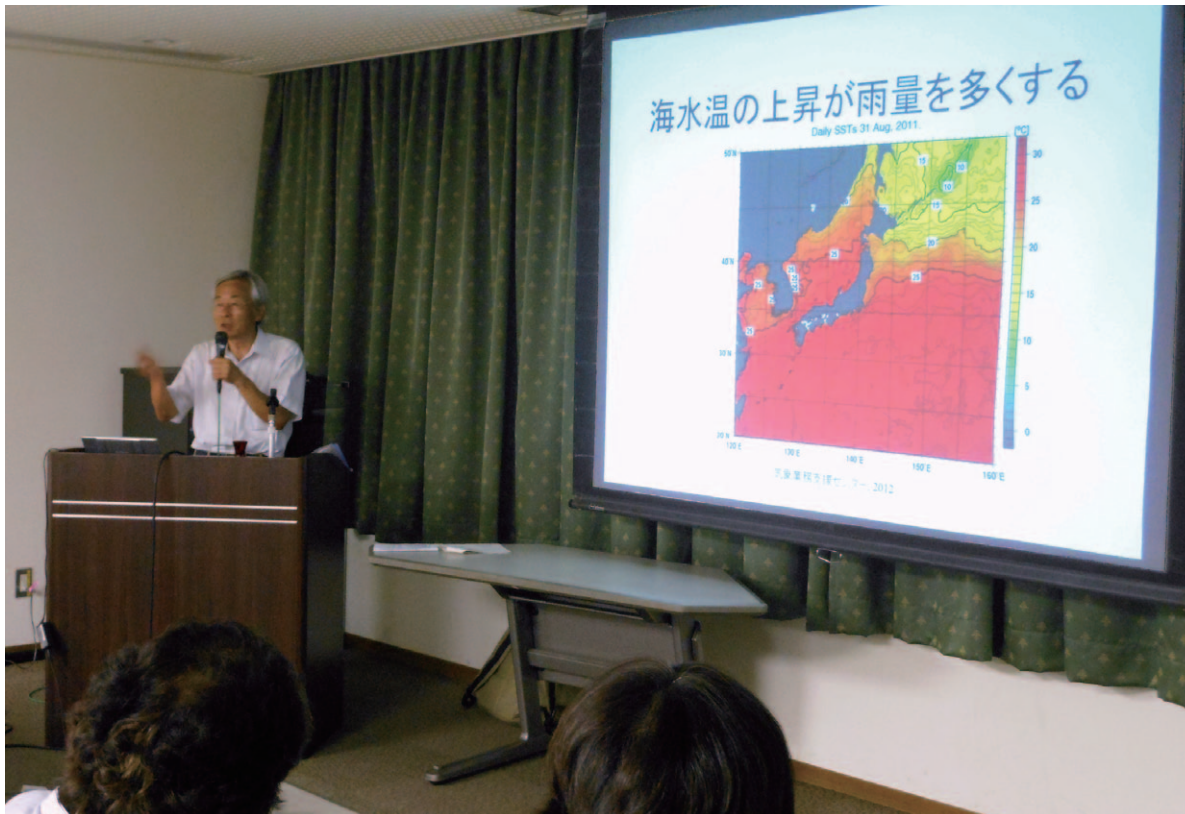
対 象 者 一般

日 時 平成24年9月5日 (水) 13:30～15:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

毎日の暮らしに欠かせない、食品や製品に含まれる化学物質の恩恵 (ベネフィット) と影響 (リスク) のバランスを考えて、上手につき合うことの大切さを学んだ。更にワークショップでは、身近な部屋の中で「化学物質はどこから出ているの?」をテーマに、化学物質の「リスク」について、活発な話し合いがあり、化学物質に関する高い関心度がうかがえた。





3 基礎講座 (第3回)

地球温暖化と異常気象 ～異常気象と海拔ゼロメートル地帯の江戸川区～

講 師 村山 貴司 (気象予報士・(財) 気象業務支援センター・専任主任技師)

概 要 近年、世界各地で異常気象による相次ぐ集中豪雨、台風の大規模化、干ばつによる甚大な災害が起きている。本講座では、気象予報士から見た地球温暖化と異常気象の現状と将来予測を知り、異常気象が私たちの生活にどのような影響があるかを見て考えてみる。

会 場 タワーホール船堀・303会議室

対 象 者 一般

日 時 平成24年9月19日 (水) 18:30~20:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

地球温暖化と最近起きている異常気象の事例を具体的にあげながら、気候の変化が食料・水の危機につながり、地球環境の将来に大きな影響をおよぼすことや、温暖化はエネルギー問題であり、エネルギーに関する正しい知識・議論の必要性についてわかり易く解説され、理解が深まった。最近の異常気象を生々しく講義され、臨場感があり、皆熱心に聴講され質問も多く好評であった。





4 基礎講座 (第4回) バス見学

環境未来都市づくり(スマートシティ)等について学ぶ～「柏の葉キャンパスシティ」・アサヒビール工場～

講 師 柏の葉キャンパスシティ、アサヒビール工場

概 要 公・民・学の連携の環境未来都市の創造、環境、スマートシティ・テクノロジー、地域コミュニティと千葉大で推進している人工太陽光・風力発電等を使用した植物工場を見学、環境未来都市づくりについて学ぶ。アサヒビール工場の見学、環境への取り組みについて映像や実際のゴミの減量化・再資源化について学ぶ。

会 場 柏の葉キャンパスシティ・千葉大植物工場・(株)アサヒビール工場

対 象 者 一般

日 時 平成24年10月5日(金) 8:30～17:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

柏の葉キャンパスシティは、実証実験の段階であったが、公民学の連携の大切さ、新しい発見、理想の街づくりを学んだ。植物工場は、民間の出資を得て販売しながら実験を進めており、期待が持てる内容であった。ビール工場では、酵母の再発見、衛生管理、廃棄物の徹底した分別・リサイクル利用の話も印象的でした。今回の見学会は、多くの方々から大変有意義な見学会で来年も継続の要望があった。





5 基礎講座 (第5回)

篠崎ビオトープで秋の自然を楽しもう! ~どんな植物・生物がいるのか観察しよう~

講 師 重杉 浩 (環境カウンセラー)

橋 昌憲 (川に学ぶ体験活動協議会インストラクターI種)

概 要 都市部ではなかなか難しい植物・生物も視点を変えてみると限られた自然の中にある色々な世界が見えて来ます!! ネイチャーゲーム等も交えながら五感で親しみ、さまざまな植物・生物や自然の楽しみ方を体験。自然を守る大切さを学ぶ。

会 場 江戸川河川敷 篠崎ビオトープ

対 象 者 一般・親子

日 時 平成24年10月14日 (日) 13:30~16:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

雨模様にも関わらず、アイスブレイクやネイチャーゲームの体験を取り入れ、植物・生物の生態を大変興味深く観察できた。外来生物の駆除や、対応の方法も興味深かった。都市部の限られた環境の中に生きている、生物や植物を観察できる「篠崎ビオトープ」の維持管理の必要性を強く感じた。多くの方が参加していただくために今後の募集方法に工夫が必要である。





6 基礎講座 (第6回)

環境講座 (入門編) ~身近な環境問題から地球規模にいたるまで~

講 師 北野 大 (江戸川総合人生大学学長)

概 要 平成24年度江戸川総合人生大学主催・共通基礎科目「地球環境を考える身近な活動」の聴講生として出席。私たちを取り巻く地球環境は、地球温暖化や異常気象などの影響が懸念されている事をしり、環境に関する気づきと共に、幅広い知識を身につける。

会 場 篠崎文化プラザ・講義室

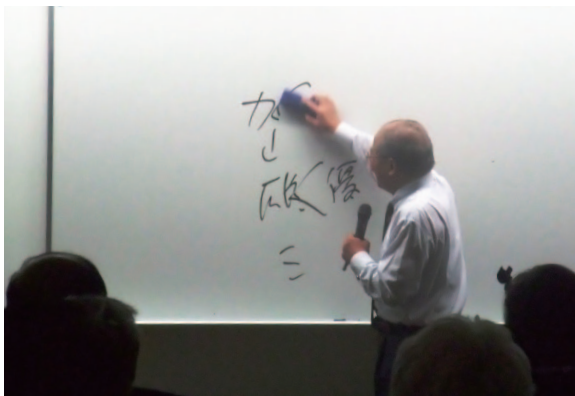
対 象 者 一般

日 時 平成24年11月14日 (水) 10:00~12:00

主 催 江戸川総合人生大学

後 援 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

江戸川総合人生大学とのパートナーシップ事業は、4年目を迎え、今年度も北野大学長のわかりやすくユーモアを交えた講座を受講。「環境問題の今」をテーマに、過去から現在にいたるまでの環境課題の変遷をたどりつつ、差し迫った今日の課題を考えて見るなど、幅広いお話しで、1人1人のライフスタイルについて考える機会をもつことができた。





7 ステップアップ講座 (第1回)

子ども環境学習 ～遊び心で学び行動につなげる～

講 師 大和地 弘一 (環境カウンセラー)

笹原 喜代司 (えどがわエコセンター会員・イノシシ倶楽部)

概 要 親子で、遊び心で学び行動につなげる。環境省作成「21世紀子ども放課後環境教育プログラム」を活用、子どもたちが楽しめるよう、「学び」よりも「遊び」「気づき」を重視、日常生活でどんな行動をとればよいかを学ぶ。

会 場 ①二之江第二小学校・体育館

②篠崎第三小学校・体育館

対 象 者 ①二之江第二小すくすくスクール児童・保護者

②篠崎第三小4年生PTA保護者

日 時 ①平成24年9月1日(土) 13:30~15:30

②平成24年11月20日(火) 13:30~15:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

「環境にやさしい買い物ゲーム」「環境パズル、ことばカードゲーム」を利用し、を利用し楽しみながら環境に関する気づきを与え、日常生活での取組みが、環境に大きな影響を与える事に関心を持ってもらった。篠崎第三小学校は、PTA保護者スタッフと連携で進める事ができ4年生105名、70名の保護者が一緒に学んでいただいた。来年度も継続してPTA授業と連携した展開に期待したい。





8 ステップアップ講座 (第2回)

Edogawaごみダイエットに挑戦 ~ごみ減量はみんなの力で~

講師 矢島 明 (江戸川区環境部清掃課課長)

市川 まりこ (環境カウンセラー・消費生活コンサルタント)

概要 循環型都市をめざし推進している「Edogawaごみダイエットプラン」を理解し、ごみ減量は、買う前に考えて選び、考えて使い、また、捨てる前に資源とごみを分け、なるべく出さない3Rを意識したライフスタイルへの見直しを考えて見る

会場 タワーホール船堀・307会議室

対象者 一般

日時 平成24年9月29日(土) 13:30~15:00

主催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

区民が一日にごみを減らす量は80g、区全体の目標としているごみ減量20%の目標に向けて、一人ひとりが主役となり3Rを進めていくことの必要性について理解を深めた。更にワークショップでは、受講者同士でごみ減量の取組みについて活発に話し合い今後の取組みについて考える機会を与えることができた。





9 ステップアップ講座 (第3回)

生活者の視点で考える省エネセミナー ～目からウロコの省エネ対策～

講 師 大庭 みゆき (株環境エネルギー総合研究所 代表取締役・工学博士)

概 要 家庭のエネルギー消費は、家電機器、住宅性能、家族の成長 (ライフサイクル) によってエネルギーの使い方が変化する。そのためその人、その家庭、そのライフスタイルにマッチした省エネ対策への取り組みが必要。本セミナーでは、家庭で取り組む省エネ対策のノウハウを知り実践に結びつける。

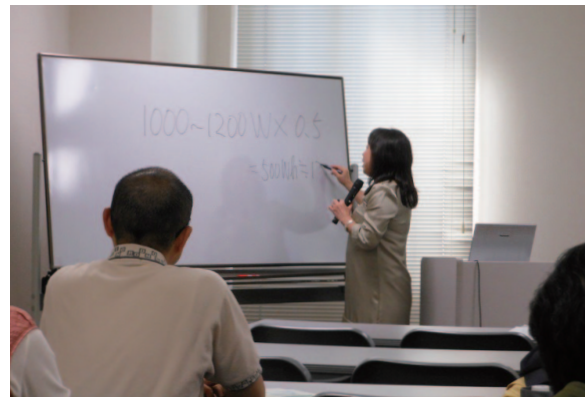
会 場 タワーホール船堀・307会議室

対 象 者 一般

日 時 平成24年10月13日 (土) 13:30~15:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

イノシシ倶楽部会員自らの実践で得たノウハウを具体的な例として話され、身近な生活から考えることができ、とても分かりやすく大変役に立つ内容であった。また、ミニクイズを取り入れ飽きさせない工夫がされてよかった。今後は、自分自身に合った取り組みを見つけ実践につなげることを期待したい。





10 ステップアップ講座 (第4回)

もったいないカフェ ～暮らしの中のエコ自慢～

講 師 須藤 澄子 (えどがわエコセンター会員・イノシシ倶楽部)

概 要 「もったいない運動えどがわ」では、以前はだれでも持っていた資源・ものを大切に作る心を取り戻し、身の回りにある「もったいない運動」を展開している。活動している先輩の話聞きながら取組みのノウハウを知り実践に結びつける。

会 場 タワーホール船堀・307会議室

対 象 者 一般

日 時 平成24年11月8日(木) 13:30~15:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

参加者を2グループに分け、もったいない運動表彰者に参加いただき、表彰者の実施例を紹介してもらいながら、活発な意見交換ができた。昨年同様、参加者に「もったいない運動」を知らなかった人が多く、このような講座・イベント等を含めさらなる普及啓発を進めて行く必要性を感じた。また、今後の募集方法に工夫が必要である。





11 リーダー講座(連続3回講座)

レッツ・エコデビュー

講師 市川 まりこ (消費生活コンサルタント・環境カウンセラー)
大和地 弘一 (環境カウンセラー)

概要 環境問題への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたい方へコミュニケーションのいろはや実践のノウハウを学ぶ。

第1日目: エコセンター紹介、コミュニケーションのいろは

第2日目: エコについてグループで話し合おう

第3日目: 活動している人たちとの話し合い&修了式・交流会

会場 タワーホール船堀・301会議室

対象者 一般

日時 第1回: 平成24年11月15日(木) 18:30~20:00

第2回: 平成24年11月22日(木) 18:30~20:00

第3回: 平成24年11月29日(木) 18:30~20:00

主催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

リーダーとして、必要なコミュニケーションの大切さを再認識したと同時に、体験学習では、「エコ活動力を高めるために」をテーマに、トライ・アングル法、ブレインストーミング法、KJ法を活用したワークショップ形式で、先輩(リーダー講座修了生)のアドバイスを受け一緒に進めることができた。イノシシ倶楽部の活動紹介を通し、活動するための活動ノウハウを学んだ。イノシシ倶楽部やエコセンターの担い手として今後の活動に期待する。

11 第1回 (11月15日)



11 第2回 (11月22日)



11 第3回 (11月29日)





発行：特定非営利活動法人えどがわエコセンター

編集&実施団体：イノシシ倶楽部

〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階

TEL：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677

Eメール：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

ホームページ：http://www.edogawa-ecocenter.jp/
